



# UEDA EAST

## 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/小田中謙 幹事/佐藤友則 会報委員長/白井正博

例会: 毎週水曜日 午後12:30~1:30

会場: 上田東急REIホテル

事務局: 上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>E-mail: [uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp](mailto:uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp)

### WEEKLY REPORT

FEBRUARY.15.2020 第1966回

FEBRUARY.19.2020 第1967回

#### ゲストスピーチ 「東ティモール、TODAY」 第1967回例会 2月19日



元東ティモール大使 北原 巖男様  
上田東RCの皆様には、お招きを頂き感謝申し上げます。貴RCが創立35周年を迎えられた際に記念講演をされた駐日東ティモール大使のイジリオ・コエリョ氏は、昨年駐米大使として赴任されました。皆様ご承知のようなお人柄で日本語も堪能な方です。米国に行かれる際には是非お会いいただければ喜ばれると思います

2002年5月に21世紀最初の独立国・アジアで一番新しい国として発足した東ティモールも、昨年は独立を決めた1999年の住民投票から20年、今年には独立から早や18年です。現在の東ティモールは、おそらく皆様が想像されている以上に平和であり、最新の世界平和度ランキングでも、163カ国中48位という上位にあります。こうした中、今年の予算案が連立与党内の分裂により否決されるという前代未聞の事態が発生しています。国づくりの停滞は懸念されますが、国民は平静です。その民主化度は、東ティモールが加盟申請中のASEAN10カ国のどの国よりも進んでいるのです。これまでも民意を表す選挙等は民主的かつ整齊と実施されて来ています。

東ティモールの平均年齢は18歳。合計特殊出生率は5.7。人口は1.8%の勢いで増えています。日本とは真逆な、これからの若い国です。それだけに次代を担う若者の育成・教育が重要です。特に基礎教育の充実・質の向上、優秀な教員の確保は最優先でなされなければなりません。日本も東ティモールの人材育成については、多方面にわたり貢献して来ています。例えば防衛大学校初の女子留学卒業生となった留学1期生は、国軍の少尉として活躍すると共に国立大学の日本語講座の講師を務めています。日本の大学から初の博士の学位を得た人物は、同じ国立大学工学部の若き副部長として後進の指導や研究に取り組んでいます。

現在、東ティモールは、農業・観光・天然ガス石油化学産業を国づくりの3本柱として捉え、2011年に策定した「戦略開発計画」に基づいて取り組んでいます。しかしいずれも、解決すべき問題や課題は山積しています。

何よりもしっかりした事実・データに基づく政策の立案そしてその着実な実施が無ければ、計画は単なる希望・夢の表明にすぎません。

残念ですが、東ティモールには未だ産業がありません。天然資源を除くと輸出出来ているのは、人口120万のうち約40万人が携わっているコーヒー生産のみです。その収穫量は非常に少なく、収入も1年間で500ドル程度にすぎません。東ティモールの平均月収が530ドルですからいかに少ないかです。コーヒー木の剪定・植え替え等、良質なコーヒー豆の生産量増大が急務です。

現在、既にコーヒーの輸出額を超えたのではないかとされているのが海外に出稼ぎに行っている16000有余の人たちからの送金です。東ティモール人は、ポルトガルのパスポートも保有でき、EUなかつくイギリスとアイルランドで働く人が多くなっています。それだけに、BREXITの余波が懸念されます。こうした中、日本は昨年4月入管法を改定して「特定技能外国人1」制度の導入を決めました。現在、技能実習生もゼロの東ティモールですが、今後日本に働きに来られるような日本語や技術能力を付与出来る態勢整備が求められます。

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。日本は武漢にチャーター便を派遣して日本人やその配偶者等を退避させました。武漢には17名の東ティモール留学生がいいましたが、彼らや小さな島嶼国からの留学生等を救出したのはニュージーランド政府のチャーター便でした。今、彼らはニュージーランドで隔離期間が過ぎるのを待っています。現在、東ティモールで感染が発生したとの情報は接していません。

東ティモールに対しては、中国が一带一路と東ティモールの国づくりのマッチングを図り、韓国は大量の若年労働者を受け入れる等アプローチを強めています。両国とも狙うは新たなガス田です。日本政府には、時機を失さない“TOO LATE”にならない外交の展開、対等なパートナーとして東ティモールの自立化に寄与して行くことを望みます。

今年は東京2020オリンピック・パラリンピックの年。東ティモールに対する応援をよろしくお願い致します。